

平成 28 年度 年 報



2 0 1 7

目 次

1 センターの概要	1
2 センターの沿革	2
3 発掘作業	3
4 整理等作業	9
5 発掘調査報告書	10
6 普及活用事業	11
7 研究・支援事業	13
8 普及活用事業の記録	14

表紙図版

六里遺跡出土土器棺（縄文時代）

1 センターの概要

名称

岐阜県文化財保護センター

設置場所

岐阜県文化財保護センター
同 飛騨駐在事務所
同 飛騨国府事務所

岐阜市三田洞東 1-26-1
高山市丹生川町坊方 2109
高山市国府町名張字峠 1425-1

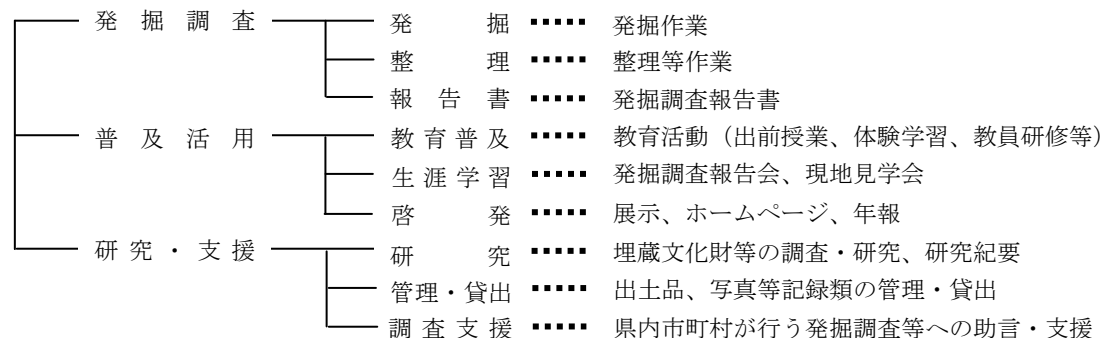
設置根拠

岐阜県立学校以外の教育機関の設置に関する条例（昭和36年条例第4号）

所掌事務

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究に関すること
- (2) 埋蔵文化財に係る開発事業の調整に関すること
- (3) 発掘調査技術の指導及び研修に関すること
- (4) 出土品の保存処理及び収蔵に関すること
- (5) 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行に関すること
- (6) 文化財の保護思想の普及に関すること
- (7) 前各号に定めるもののほか、岐阜県文化財保護センターの事業に関すること

事業体系図



職員名簿

課	職名	氏名
所長	所長	羽田 能崇
総務課	総務課長	二宮 隆
	主査	木嶋 祐子
	主事	伊藤 由衣
	主事	森 理恵
	雇員	河崎 美津子
調査課	調査課長兼 調査第一係長	春日井 恒
調査第一係	主査	三輪 晃三
	主査	長谷川 幸志
	学芸主事	佐竹 正憲
	学芸主事	加中 雅章
	雇員	澤井 理恵

課	職名	氏名
調査第二係	課長補佐兼 調査第二係長	古屋 寿彦
	課長補佐	山本 厚美
	主査	小野木 学
	学芸主事	井手 大介
調査第三係	課長補佐兼 調査第三係長	河合 洋尚
	学芸主事	杉山 忠弘
	学芸主事	大本 直人
	学芸主事	笠井 慎吾
飛騨調査係	課長補佐兼 飛騨調査係長	大宮 次郎
	主査	柏木 賢一
	主査	三島 誠
	主事	小林 新平
	雇員	西 可奈子

2 センターの沿革

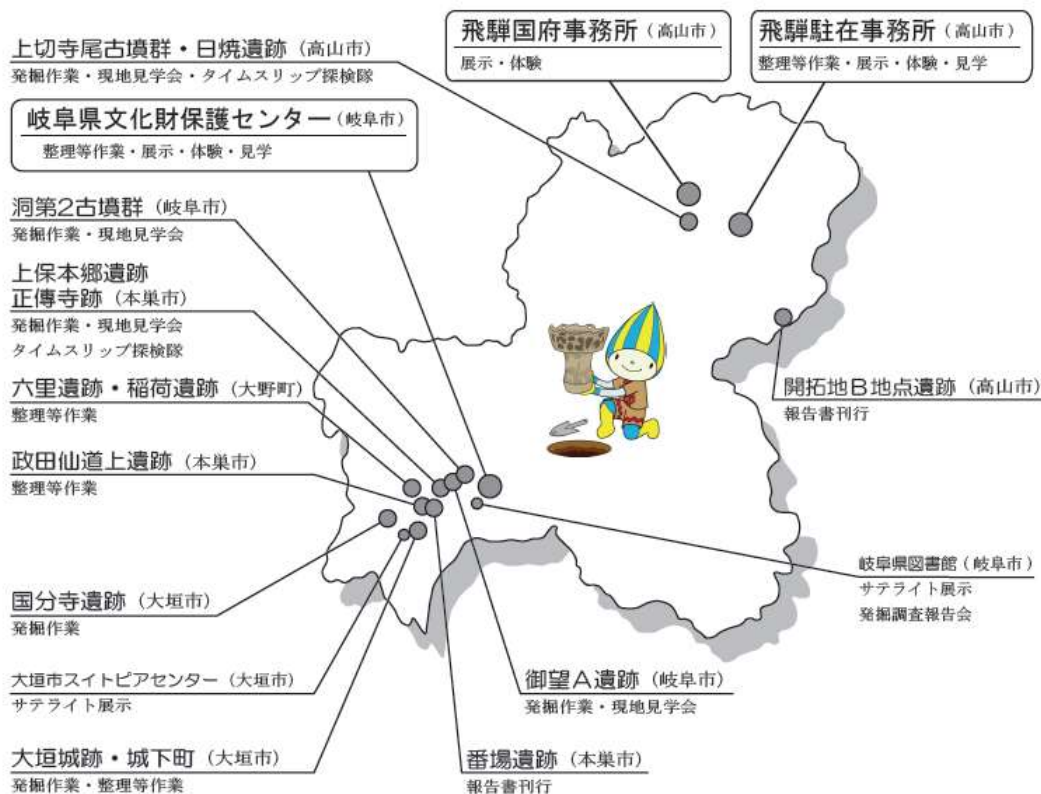
これまでの成果

発掘調査	調査遺跡数 180 遺跡（古墳群・古窯跡群を 1 遺跡として） 調査面積 693,848 m ² 発掘調査報告書 138 集
発掘調査報告会	平成 5 年度から毎年開催
タイムスリップ探検隊	平成 4 年度から毎年開催
発掘速報展	平成 8 年度～平成 26 年度開催（平成 22 年度からは岐阜県博物館と共催）

【これまでの主な発掘調査事業】

調査原因	調査年度	主な遺跡
徳山ダム	3～18	戸入村平遺跡(揖斐川)、塚奥山遺跡(揖斐川)
東海北陸自動車道	3～9	西ヶ洞遺跡(郡上)、勝更白山神社周辺遺跡(郡上)
東海環状自動車道	4～現在	柿田遺跡(可児・御嵩)、佐口遺跡(美濃加茂)、 重竹遺跡(関)、荒尾南遺跡(大垣)、北方京水遺跡(大垣) 上保本郷遺跡(本巣)、洞第2古墳群(岐阜)
中部縦貫自動車道	13～現在	上岩野遺跡(高山)、赤保木遺跡(高山) 野内遺跡(高山)、随縁寺裏B地点遺跡(高山)
丹生川ダム	5～8	西田遺跡(高山)、カクシクレ遺跡(高山)
県工業団地造成	5～8	船山北遺跡(各務原)、船山北古墳群(各務原)
・VRテクノジャパン	5～7	今宿遺跡(大垣)
・ソフトピア	8～11	砂行遺跡(関)、深橋前遺跡(関)、南青柳遺跡(関)
・関テクノハイランド		

平成 28 年度事業概要



3 発掘作業

かみのほほんごう 上保本郷遺跡

所在地 本巢市上保地内
立地 扇状地
事業名 平成28年度東海環状自動車道建設
事業者名 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
調査期間 平成28年5月2日～平成28年12月19日
調査面積 7,014.5㎡
種別 集落跡、生産遺跡（鍛冶遺跡）、古墳
時代 弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世
主な遺構 竪穴建物、掘立柱建物、柱穴、溝、土坑、鍛冶炉など
主な遺物 土師器、須恵器、灰釉陶器、中世陶磁器、石器、鉄滓、^{かいて}鞆羽口など

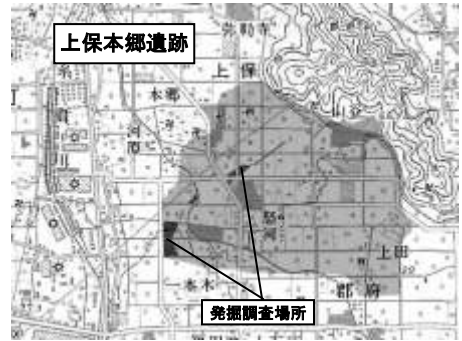
調査概要

当遺跡は、船来山古墳群のある郡府山の西麓から旧根尾川氾濫域の間に位置し、遺跡の南1.2kmには席田廃寺、北0.6kmには弥勒寺跡が所在する。平成19～23年度に本巢市教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査では、古代瓦や須恵器、土師器、山茶碗などが採集され、平成27年度に当センターが実施した発掘調査では、古墳時代後期の古墳2基や平安時代末から室町時代の鍛冶関連施設などを確認した。

今年度の調査でも、古墳時代から室町時代までの遺構や遺物を多数確認した。特に遺跡の西側では室町時代の館跡が見つかり、館を区画する幅約2.5～3.0m、深さ約1.3mの大溝からは、京都系土師器皿を含む多数の土師器皿が出土した。また、大溝からは金属鋳物が付着した^{あつぽ}埴塼や大型の鞆羽口などの鍛冶関連遺物も出土し、その周辺では炉跡も見つかったことから、館周辺でも鍛冶を行っていたことが明らかとなった。

しょうでんじあと 正傳寺跡

所在地 本巢市上保地内
立地 山林
事業名 平成28年度東海環状自動車道建設
事業者名 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
調査期間 平成28年5月12日～平成28年8月22日
調査面積 1,114.7㎡
種別 寺院跡



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「池野」
「北方」に一部加筆



上保本郷遺跡 発掘区全景



大溝 遺物出土状況



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「北方」
に一部加筆

時代 江戸時代
 主な遺構 礎石建物、基壇、溝、土坑、石垣など
 主な遺物 土師器、須恵器、近世陶磁器、石器、金属製品など

調査概要

当遺跡は、本巣市と岐阜市にまたがる郡府山の南斜面に位置する。郡府山とその北に連なる船来山の全域には、古墳時代前期から後期までの古墳が数多く確認されており、船来山古墳群として知られている。また、船来山・郡府山の南斜面には、弥勒寺などの寺院や神社が立地している。記録によると正傳寺もこの南斜面に立地し、安永年中（1772～1780年）に創建された臨済宗の寺院とされる。平成27年度に県教育委員会が実施した試掘・確認調査では、古墳時代から近世にかけての遺物や礎石と考えられる遺構を確認した。

今年度の調査では、石組みの基壇と、基壇上に礎石建物を確認した。基壇は斜面を削って平坦地を造成後、3層程度の敷土を叩きしめて構築されていた。基壇造成土を東西約15m、南北約9mの範囲にわたって確認した。礎石建物は、柱間が桁行3間、梁行3間の本堂と、本堂の東側に桁行2間、梁行1間の庫裏を付け足した構造である。出土遺物から江戸時代後期と考えられ、記録に残る正傳寺の創建期と一致する。また、礎石建物の北側で建物に付属する土器埋設遺構を確認した。埋設された土器は常滑産の甕2個体である。



正傳寺跡 発掘区全景



基壇・礎石 検出状況

ごも
御望A遺跡

所在地 岐阜市御望地内
 立地 河岸段丘
 事業名 平成28年度東海環状自動車道建設
 事業者名 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
 調査期間 平成28年5月17日～平成28年12月9日
 調査面積 1,866 m²
 種別 集落跡
 時代 縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世
 主な遺構 竪穴建物、掘立柱建物、炉、カマド、柱穴、溝、土坑など
 主な遺物 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、中近世陶磁器、石器、金属製品など

調査概要

当遺跡は、古根尾川によって形成された段丘面（黒野台地）の北西端に立地する。台地上には縄文時代から近世にかけての遺跡が分布し、遺跡の北側に位置する御望



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「北方・美濃軽海」に一部加筆



御望A遺跡 発掘区全景

山の南斜面には犬塚古墳群、御望古墳群等の古墳時代後期の古墳群が立地する。平成3年度から平成5年度に岐阜市教育委員会が実施した発掘調査では、縄文時代前期を中心とした集落跡や縄文時代中期、弥生時代後期、古墳時代後期の堅穴建物が確認され、平成26・27年度に当センターが実施した試掘・確認調査では、縄文時代から古代にかけての遺物や堅穴建物と考えられる遺構を確認した。

今年度の調査では、縄文時代前期、縄文時代中期、弥生時代末から古墳時代前期、古墳時代後期、古代の堅穴建物26軒や掘立柱建物2棟などを確認した。これらの堅穴建物は、岐阜市教育委員会調査で確認した堅穴建物の時期とほぼ一致しており、縄文時代から古代にかけて断続的に集落が営まれていたと考えられる。



堅穴建物 完掘状況

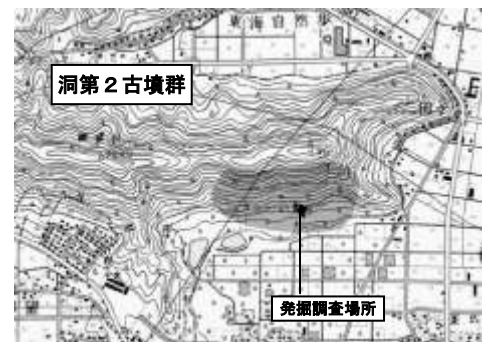
ほらだい 洞第2古墳群

所在地	岐阜市洞地内
立地	扇状地
事業名	平成28年度東海環状自動車道建設
事業者名	国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
調査期間	平成28年5月27日～平成28年12月2日
調査面積	2,187㎡
種別	古墳
時代	古墳時代、古代、中世
主な遺構	古墳、配石遺構、溝など
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、近世陶磁器、石器など

調査概要

当遺跡は、御望山の南斜面に所在する周知の古墳群の一つであり、調査前は山林や柿畑となっていた。平成27年度発掘調査において7基の古墳を確認しており、今年度は昨年度発掘区の斜面上方に当たる北西側の調査を実施した。崩落堆積土に埋もれた古墳2基を新たに確認したほか、平成27年度発掘調査で確認した古墳の未調査部分であった墳丘及び周溝の調査を実施した。

今年度確認した古墳2基はいずれも墳丘と周溝が残っており、擬似両袖式横穴式石室をもち古墳時代後期に属するものと考えられる。ともに斜面下方にあたる墳丘南側に、外護列石が一部残存していた。うち1基は石室の長軸が約4.5m、最大幅約0.9mで奥壁付近の高さが約1.4mあった。またもう1基も石室の長軸と最大幅はほぼ同規模で、奥壁手前から完形に近い須恵器(平瓶)が出土したほか、羨道部からも須恵器の坏身と坏蓋が出土した。この他、古代に属すると考えられる灰釉陶器の碗と小瓶



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「北方」に一部加筆



洞第2古墳群 発掘区全景



古墳 完掘状況

を伴う配石遺構や、中世に属すると考えられる平成 27 年度に確認した大溝と同規模の溝を確認した。

かみぎりてらお

上切寺尾古墳群

所在地 高山市上切町地内
立地 丘陵地
事業名 平成 28 年度中部縦貫自動車道高山清見道路
事業者名 国土交通省中部地方整備局高山国道事務所
調査期間 平成 28 年 5 月 9 日～平成 28 年 11 月 21 日
調査面積 6,450 m²
種別 集落跡、墓
時代 縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世
主な遺構 古墳、竪穴建物、礎石建物、溝など
主な遺物 縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、中近世陶磁器、瓦、石器、石製品、金属製品など

調査概要

当遺跡は高山盆地北西部の丘陵尾根及び傾斜地に位置する。高山市域に所在する群集墳の中では、基数が最多であることが確認されている。平成 27 年度は 1,800 m²の本発掘調査を実施し、8 基の古墳と古代の竪穴建物 18 軒などを確認した。

今年度の調査では、昨年度発掘調査した場所の北側、西側、南側の発掘調査を実施し、古墳 46 基と竪穴建物 15 軒、掘立柱建物 1 棟、礎石建物 1 棟などを確認した。古墳は原形をとどめているものが多く、尾根上に古墳が列をなすように並んで築造されていた。古墳の埋葬施設は直葬で、出土した土器から弥生時代終わり頃から古墳時代初め頃に築造されたと考えられる。礎石建物は 10 世紀頃と考えられ、中央の土坑からは鎮壇具と推定される鏡やその周辺から仏具とされる多口瓶が出土した。このことから寺院跡の可能性が高い。竪穴建物は、縄文時代の 1 軒を除いて 7 世紀後葉から 8 世紀初頭頃のもので、隣接する日焼遺跡の集落と同時代であることから、日焼遺跡の集落の範囲が当遺跡まで広がっていたと考えられる。

ひやけ

日焼遺跡

所在地 高山市上切町地内
立地 丘陵地
事業名 平成 28 年度中部縦貫自動車道高山清見道路
事業者名 国土交通省中部地方整備局高山国道事務所



遺跡の位置 国土地理院発行 1:25,000 地形図「三日町」「飛騨古川」に一部加筆



上切寺尾古墳群 発掘区全景



古墳 完掘状況



遺跡の位置 国土地理院発行 1:25,000 地形図「三日町」「飛騨古川」に一部加筆

調査期間 平成 28 年 5 月 9 日～平成 28 年 9 月 6 日
調査面積 102 m²
種 別 集落跡
時 代 縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、近世
主な遺構 溝、竪穴建物、掘立柱建物、柵、土坑など
主な遺物 縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、陶磁器、石器、金属製品など

調査概要

当遺跡は川上川左岸の高山盆地を形成する丘陵部の南向き緩斜面に立地する。平成 27 年度の調査では、縄文時代の竪穴建物 1 軒・煙道付炉穴 3 基、古代の竪穴建物 3 軒・掘立柱建物 4 棟などを確認した。

今年度の調査では、竪穴建物 3 軒、掘立柱建物 1 棟、柵 3 条などを確認した。竪穴建物は出土遺物から 7 世紀後葉から 8 世紀初頭頃、掘立柱建物と柵は、重複する竪穴建物より後出することから 8 世紀以降と考えられ、日焼遺跡の集落が東側の緩斜面地まで広がることを確認できた。また、隣接する上切寺尾古墳群の調査においても、竪穴建物を検出したことから、日焼遺跡の集落の範囲が、上切寺尾古墳群の傾斜地及び丘陵尾根上まで広がるものと考えられる。



日焼遺跡 発掘区全景



竪穴建物 完掘状況

おおがきじょうあと じょうかまち
大垣城跡・城下町

所在地 大垣市丸の内地内
立 地 扇状地
事業名 平成 28 年度岐阜地方家庭裁判所大垣支部庁舎新営
事業者名 国土交通省中部地方整備局営繕部
調査期間 平成 28 年 5 月 6 日～平成 28 年 10 月 12 日
調査面積 317.8 m²
種 別 城館跡
時 代 中世、近世、近代
主な遺構 柱穴、溝、土坑など
主な遺物 弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、中近世陶磁器、木製品、石製品、金属製品など

調査概要

当遺跡は、揖斐川と杭瀬川が形成した扇状地帯の南端に立地する。平成 26・27 年度に県教育委員会が試掘・確認調査を実施し、土坑 3 基、溝 1 条の遺構や古代から近代にかけての遺物を確認した。

今年度の調査では、上下 2 面で遺構検出・掘削を行い、主に中世から近代にかけての遺構や遺物を確認した。第



遺跡の位置 国土地理院発行 1:25,000 地形図「大垣」に一部加筆



大垣城跡・城下町 発掘区西半全景

1 調査面では、近代の東西方向の大溝（幅約 5 m、深さ約 1 m）を確認した。大溝の北面には部分的に石積が遺存し、石積の基礎には枕木の上に胴木 1 本を敷き、その手前を留杭で固定していた。なお、大溝の底面で検出した大型の土坑で、漆器・箸・貝殻がまとまって出土した。第 2 調査面では、中世から近代にかけての溝・土坑・柱穴を検出した。これらのうち南北方向の溝 3 条（幅約 1 ～ 4 m、深さ 1 m 前後）や溝の東側の土坑群から中世前期の遺物が出土した。今回の調査では、中世、近世、近代の 3 時期の溝を確認したが、いずれも長軸方位が南北又は東西方向であり、方位を意識して土地利用を行っていたと考えられる。



石積 検出状況

こくぶんじ 国分寺遺跡

所在地 大垣市青野地内
立地 扇状地
事業名 平成 28 年度公共社会資本整備総合交付金
事業者名 岐阜県大垣土木事務所
調査期間 平成 28 年 7 月 4 日～平成 28 年 11 月 29 日
調査面積 2,148 m²
種別 社寺跡
時代 弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世
主な遺構 柱穴、溝、土坑、柵、自然流路など
主な遺物 縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、近世陶器、瓦、^{せん}埴、木製品、鉄滓など

調査概要

当遺跡は段丘化した扇状地帯に位置する。今回の発掘区の北側には国史跡美濃国分寺跡、0.3 km 南には古代の官道東山道を踏襲したと考えられる中山道がある。平成 8 ～ 11 年度には、大垣市教育委員会が今回の発掘区北側において発掘調査を行い、参道や掘立柱建物、^{じょうかん}幢竿、井戸、柵などを確認した。

今年度は大垣市教育委員会による調査箇所^の南側と、その東西で調査を実施し、53 基の柱穴と土坑、3 条の溝、2 条の柵、8 条の自然流路を確認した。近世の参道「国分寺道」など、国分寺に関連する遺構は確認できなかったが、美濃国分寺跡から西へ約 80m の位置で、奈良時代と考えられる方形の柱穴 3 基を検出したことが特筆される。また、美濃国分寺跡の南側では、土坑 2 基から須恵器や瓦がまとまって出土した。遺物は古代のものが大半で、瓦や埴、墨書土器など、国分寺との関係が考えられるものが出土した。



遺跡の位置 国土地理院発行 1:25,000 地形図「大垣」に一部加筆



国分寺遺跡 発掘区全景



柱穴 完掘状況

4 整理等作業

遺跡名等	調査の概要と成果	主な遺構	主な遺物
<p>おおがきじょうあと・じょうかまち</p> <p>大垣城跡・城下町</p> <p>所在地 大垣市丸の内地内</p> <p>事業名[事業者名]</p> <p>平成28年度岐阜県地方家庭裁判所大垣支部庁舎新営[国土交通省中部地方整備局営繕部]</p> <p>整理面積/調査面積 317.8㎡/317.8㎡</p> <p>発掘調査期間</p> <p>平成28年5月6日～平成28年10月12日</p>	<p>当遺跡は、中世から近世にかけての城館跡である。平成28年度に発掘作業を実施し、主に中世から近代にかけての遺構・遺物を確認した。整理等作業では、出土遺物の接合作業、補修・補強作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、近世の遺物については瀬戸又は美濃産陶器が大半で常滑産陶器、肥前産磁器、土師器が少量伴い、大垣城跡・城下町の周辺の遺跡の調査と同様の傾向であることを確認した。また、出土した播鉢の時期を集計すると、登窯期のほぼ全時期にわたって確認でき、江戸時代を通じた土地利用があったことが推察される。</p> <p>中世の遺物については、中世前期を主体としつつ中世後期まで継続的に出土しており、発掘区東端を中心に当該期の遺構・遺物が良好に残存していたことを確認した。中でも、少量ではあるが古瀬戸前期の壺・瓶類が出土した点を、当遺跡の中でどのように評価していくのかが注目される点である。</p>	<p>○中世から近世</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝 ・土坑 ・柱穴 <p>○近代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝 ・土坑 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥生土器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・土師器 ・中近世陶磁器 ・石製品 ・木製品 ・金属製品 <p>など</p>
<p>いなり</p> <p>稻荷遺跡</p> <p>所在地 揖斐郡大野町六里地内</p> <p>事業名[事業者名]</p> <p>平成28年度県単街路[揖斐土木事務所]</p> <p>整理面積/調査面積 1,091㎡/1,091㎡</p> <p>発掘調査期間</p> <p>平成26年5月26日～平成26年12月3日</p>	<p>当遺跡は、古代の集落跡である。平成26年度に発掘作業を実施し、今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、古墳時代から平安時代前期における遺構の変遷が明らかとなった。検出した遺構は、発掘区中央の溝を境に、18軒の堅穴建物が密集する発掘区東部の居住域と、水田域と考えられる西部の低地に分けられる。東部の堅穴建物は、1軒を除き奈良時代後半から平安時代前半に属する。奈良時代後半に堅穴建物が急激に増え、平安時代前半に廃絶した後は、全域が耕地化して今日に至ったと考えられる。また、検出した堅穴建物や溝の長軸方位が、北北東―南南西の軸に傾いていることから、周辺に条里地割が導入される以前の集落であり、大野郡条里の導入推定時期が平安時代前半であることとの関連が示唆される。なお、水田域で検出した中世以降と考えられる大畦畔の痕跡は、六里遺跡発掘区からの距離の測定により、条里地割の坪境である可能性が高いことを確認した。</p>	<p>○古墳時代後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堅穴建物 <p>○古代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堅穴建物 ・溝 <p>○中世以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器 ・土師器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・中近世陶磁器 ・土製品 ・石器、石製品 ・金属製品 <p>など</p>



大垣城跡・城下町出土近世陶磁器



稻荷遺跡出土古代土器

遺跡名等	調査の概要と成果	主な遺構	主な遺物
<p>ろくり</p> <p>六里遺跡</p> <p>所在地 揖斐郡大野町六里・小衣斐地内</p> <p>事業名〔事業者名〕 平成28年度県単街路〔揖斐土木事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 2,322㎡/2,322㎡</p> <p>発掘調査期間 平成26年4月28日～平成26年12月15日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代晩期から近世にかけての墓域、生産遺跡、集落跡である。平成26年度に発掘作業を実施し、今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、当該地における遺構の変遷が明らかとなった。第1調査面では、安土桃山時代以降の畦畔に囲まれた水田跡や坪境溝等を確認した。坪境溝は、横木や杭で改修されながら、昭和47年度の圃場整備前まで使用されていた。第2調査面では、居住域である発掘区西部の微高地に古墳時代後期（7世紀代）の竪穴建物7軒や掘立柱建物3棟を確認した。また、建物周辺で検出した溝は、古墳時代前期から中世のものまで認められる。発掘区東部の低地には排水溝が多数設置され、古墳時代前期以降水田が存在した可能性が高い。第3調査面では縄文時代晩期後半の土器埋設遺構等を確認した。土器埋設遺構は11基あり、使用されている土器の形態から、2時期に分けることができる。縄文時代晩期末以降の堆積土により廃絶当時のまま埋没したため、後世の攪乱を受けておらず、縄文時代晩期の様相を伝える貴重な資料といえる。</p>	<p>○縄文時代晩期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土器埋設遺構 ・焼土遺構 ・土坑 ・自然流路 <p>○古墳時代前期・中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝 <p>○古墳時代後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竪穴建物 ・掘立柱建物 ・溝 <p>○古代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝（里境・坪境溝） <p>○中世以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田跡 ・溝（坪境溝） 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器 ・弥生土器 ・土師器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・中近世陶磁器 ・土製品 ・石器、石製品 ・金属製品 ・木製品 <p>など</p>



六里遺跡出土古墳時代土器



縄文土器復元作業

5 発掘調査報告書

報告書名	事業名〔事業者名〕	発行年月
<p>岐阜県文化財保護センター調査報告</p> <p>書第137集 <small>かいたくら ちてん</small> 開拓地B地点遺跡</p>	<p>県営中山間地域総合整備 南高山地区〔飛騨農林事務所〕</p>	<p>平成28年10月</p>
<p>岐阜県文化財保護センター調査報告</p> <p>書第138集 <small>ばんば</small> 番場遺跡</p>	<p>公共社会資本整備総合交付金〔岐阜土木事務所〕</p>	<p>平成28年12月</p>

6 普及活用事業

1 教育普及

(1) 出前授業

学校	内容	期日	参加人数
輪之内町立福東小学校6年生	縄文時代の石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月13日(水)	1クラス25名
輪之内町立福東小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月13日(水)	1クラス25名
岐阜市立常盤小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月14日(木)	2クラス62名
高山市立栴尾小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月15日(金)	1クラス10名
大垣市立江東小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月18日(月)	2クラス78名
神戸町立下宮小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月18日(月)	1クラス25名
高山市立国府小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月18日(月)	2クラス76名
岐阜市立三輪南小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月20日(水)	3クラス97名
郡上市立高鷲北小学校6年生	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月20日(水)	1クラス10名
郡上市立高鷲小学校6年生	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月20日(水)	1クラス29名
郡上市立白鳥小学校6年生	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月21日(木)	2クラス53名
安八町立結小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月21日(木)	2クラス60名
高山市立東小学校6年生	各時代の土器に触れ、比較することで、歴史学習への興味・関心を持つ	4月21日(木)	3クラス91名
高山市立花里小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月21日(木)	2クラス60名
海津市立吉里小学校6年生	縄文時代の石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月22日(金)	1クラス16名
海津市立吉里小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月22日(金)	1クラス16名
郡上市立川合小学校6年生	縄文時代から平安時代の土器を比較し、違いについて考える	4月25日(月)	1クラス11名
大野町立大野小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月25日(月)	2クラス77名
高山市立新宮小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月25日(月)	2クラス72名
高山市立清見小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月26日(火)	1クラス25名
郡上市立口明方小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月26日(火)	1クラス28名
郡上市立明宝小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月26日(火)	1クラス11名
郡上市立大和西小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月26日(火)	1クラス21名
大垣市立荒崎小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月27日(水)	2クラス55名
大垣市立日新小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月27日(水)	1クラス41名
高山市立宮小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月27日(水)	1クラス26名
高山市立江名子小学校6年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月27日(水)	2クラス44名
岐阜市立市橋小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月28日(木)	4クラス127名
飛騨市立神岡小学校6年生	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月28日(木)	2クラス55名
岐阜市立岩野田北小学校6年生	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	5月2日(月)	3クラス87名
下呂市立小坂小学校6年生	縄文時代から平安時代の土器を比較し、違いについて考える	5月2日(月)	1クラス29名
下呂市立尾崎小学校6年生	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	5月2日(月)	1クラス12名
岐阜市立岩野田北小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月6日(金)	3クラス87名
川辺町立川辺北小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月12日(木)	1クラス20名
下呂市立萩原小学校6年生	縄文時代から平安時代の土器を比較し、違いについて考える	5月13日(金)	2クラス73名
郡上市立吉田小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月17日(火)	1クラス12名
郡上市立大和西小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月18日(水)	1クラス21名
郡上市立八幡小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月18日(水)	2クラス49名
郡上市立口明方小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月19日(木)	1クラス28名
郡上市立明宝小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月19日(木)	1クラス11名
郡上市立大和第一北小学校5・6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月19日(木)	1クラス14名
海津明誠高校2年生	縄文時代から中世の土器を比較し、製作技術の変化や工夫に気づく	5月20日(金)	3クラス99名
郡上市立那留小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月25日(水)	1クラス8名
岐阜市立梅林小学校6年生	縄文時代から中世の土器を比較し、違いについて考える	6月4日(土)	1クラス40名
県立不破高等学校3年生	縄文時代から中世の土器を観察し、各時代の土器の特徴を理解する	6月7日(火)	選択者11名
恵那市立串原小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月9日(木)	1クラス4名

学校	内容	期日	参加人数
恵那市立串原中学校2年生	遺跡から出土した貨幣から、中世の人々の暮らしについて考える	6月9日(木)	1クラス6名
池田町立宮地小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月10日(金)	1クラス17名
郡上市立明宝小学校6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月14日(火)	1クラス11名
郡上市立大和第一北小学校5・6年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月14日(火)	1クラス14名
本巣市立糸貫中学校1年生	縄文時代の土器や石器を観察し、その特徴や用途を考える	6月22日(水)	3クラス102名
各務原市立尾崎小学校社会科クラブ(4～6年生)	遺跡から出土した貨幣から、中世の人々の暮らしについて考える	6月23日(木)	15名
土岐市土岐津中学校1年生	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月24日(金)	3クラス105名
郡上市立大和北小学校6年生	縄文時代から中世の土器を比較し、違いについて考える	7月8日(金)	1クラス25名
大垣市立南中学校1年生	縄文時代から中世の土器を比較し、製作技術の変化や工夫を考える	7月19日(火)	4クラス136名
高山市立松倉中学校3年生	ふるさとの遺跡から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	10月7日(金)	1クラス30名
各務原市立尾崎小学校社会科クラブ(4～6年生)	縄文時代の土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	10月13日(木)	15名
高山市立松倉中学校3年生	縄文土器作りを通して、当時の人々の技術を考え、歴史に興味・関心を持つ	10月14日(金)	1クラス30名
養老町立広幡小学校5年生	徳山地域から出土した土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	10月27日(木)	1クラス17名
各務原市立尾崎小学校社会科クラブ(4～6年生)	弥生時代と古墳時代の土器を比較し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	1月19日(木)	15名
本巣市立席田小学校6年生	本巣市上保本郷遺跡発掘調査の成果	2月7日(火)	2クラス60名

延べ61校96クラス2529名(美濃地域47校、飛騨地域14校)

(2) 講師派遣

派遣先	内容	期日	参加人数
土岐市小中学校教育研究会	考古学の成果を授業に活かす方法	6月24日(金)	13名
岐阜コミュニティ創造大学	埋蔵文化財から見たふるさと岐阜の歴史	7月9日(土)	25名
高山市上切町内会	上切寺尾古墳群・日焼遺跡の発掘調査状況について	12月11日(日)	20名
本巣市上保東部自治会	上保本郷遺跡と正傳寺跡の発掘調査成果について	1月22日(日)	5名
飛騨考古学研究会	上切寺尾古墳群の発掘調査の成果と考察	1月29日(日)	18名

(3) タイムスリップ探検隊

体験者	体験内容	場所	期日	参加人数
小学校高学年児童・保護者	発掘体験、土器洗い、拓本体験	上切寺尾古墳群(高山市)	7月21日(木)	20名
小学校高学年児童・保護者	発掘体験、土器洗い、拓本体験	上保本郷遺跡(本巣市)	7月27日(水)	20名

(4) 総合教育センター研修(埋蔵文化財活用講座)

対象	内容	期日	参加人数
小中高等学校及び特別支援学校の教員	遺跡から出土した本物の土器・石器、発掘調査の成果などを、授業で活かす具体的な方法を紹介するとともに、実際に土器や石器に触れる活動をおおして、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを体験し、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る	8月3日(水)	10名

(5) バックヤードツアー

対象	内容	期日	参加人数
小学生以上の方	文化財保護センターの施設や業務及び所蔵する埋蔵文化財を見学したり、業務(整理等作業)を体験する	8月18日(木) 8月19日(金)	19名

(6) 見学・体験の受け入れ

見学者	内容	期日	参加人数
高山市立国府小学校1年生及び引率教員	広瀬城跡の説明	5月19日(木)	70名
富加町公民館講座受講生及び町教委職員	洞第2古墳群発掘調査現場及び六里遺跡・稲荷遺跡整理作業の見学	6月23日(木)	8名
岐阜市歴史博物館ボランティア	洞第2古墳群・御望A遺跡発掘調査現場の見学	7月20日(水)	20名
本巣市立土貴野小学校6年生及び引率教員	上保本郷遺跡の発掘調査に関する説明	10月25日(火)	41名

2 生涯学習

(1) 発掘調査報告会

遺跡名	発表者(所属)	会場	期日	参加人数
番場遺跡(本巣市)	小野木学(当センター職員)	岐阜県図書館(岐阜市)	10月15日(土)	123名
黒野城跡(岐阜市)	西尾明泰氏(岐阜市教育委員会)			
乙塚古墳・段尻巻古墳(土岐市)	澤井計宏氏(公益財団法人土岐市文化振興事業団)			

(2) 現地見学会

遺跡名	内容	期日	参加人数
洞第2古墳群（岐阜市）	発掘現場を公開し、遺跡の見学、遺跡概要の説明及び遺物の展示・紹介を行う	9月24日（土）	83名
上切寺尾古墳群（高山市）		10月1日（土）	雨天中止
御望A遺跡（岐阜市）		10月22日（土）	98名
上保本郷遺跡（本巣市）		10月27日（土）	141名

3 啓発

(1) 展示

名称	展示内容	会場	開催期間
サテライト展示	「荒尾南遺跡展～岐阜県最大規模の集落～」	大垣市スイトピアセンター（大垣市）	前年度～12月14日（水）
	岐阜県文化財保護センター所蔵品展「飛騨美濃の縄文時代装身具」	岐阜県図書館（岐阜市）	4月23日（土）～5月15日（日）
	「埋もれた水田～今宿遺跡展～」	大垣市スイトピアセンター（大垣市）	12月16日（金）～翌年度4月
	「上切町の歴史～野内遺跡の古墳時代～」	上切町公民館（高山市）	12月9日（金）～3月3日（金）
本館展示	南高野古墳、梅替古墳、番場遺跡、堀田城之内遺跡、芥見町屋遺跡、大平遺跡、広畑野口遺跡、荒尾南遺跡等の出土遺物や解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター（岐阜市）	年間を通して展示（1回展示替え）
飛騨駐在事務所展示	西田遺跡の縄文土器や土製品・石製品と解説パネルを展示	岐阜県文化財保護センター飛騨駐在事務所（高山市）	年間を通して展示（1回展示替え）
飛騨国府事務所展示	「飛騨古川の古代」～太江と「高家寺」～	岐阜県文化財保護センター飛騨国府事務所（高山市）	9月17日（土）～9月19日（月）

(2) ホームページ

内容	URL	更新
センター調査日より考古学コラム「きずな」等による発掘調査事業の情報提供、現地見学会などの各種イベントの案内及び報告、保管資料の活用や出前授業に関する情報を掲載	http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/ken-gaiyo/soshiki-annai/kankyo-seikatsu/bunkazai/	随時

(3) 年報

内容	刊行
毎年度の発掘調査事業、普及活用事業及び研究・支援事業を年報として記録するとともに、関係機関へ配布し、ホームページに掲載	平成27年度の『年報16』は、平成28年3月31日に刊行及びホームページに掲載

7 研究・支援事業

(1) 出土品等の貸出

内容	実績
公共機関等からの要請に基づき、出土品や関係資料を貸し出すことにより、その活用を図る	出土品の貸出：18件 出土品の調査等：24件 写真資料等の貸出：20件 (平成29年3月10日現在)

(2) 報告書・図書等の保管

蔵書数	受け入れ登録数
発掘調査報告書48,122冊、その他の図書15,034冊、刊行物1,340冊、野村文庫6,660冊	発掘調査報告書1,233冊・その他の図書720冊 (平成29年3月10日現在)

(3) 研究紀要

目的	掲載内容
当センターの所掌事務である「埋蔵文化財の研究」、「埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行」（岐阜県公立学校以外の教育機関の設置に関する規則第二条第一項第一号及び第五号）の業務について、「研究紀要」を作成することで成果を広く県民に還元し、本県文化の振興に寄与する	『岐阜県文化財保護センター研究紀要』第2号（センターホームページに掲載） 吉田靖・河合洋尚・古屋寿彦・大本直人・佐竹正憲・笠井慎吾・井手大介「ふるさとの歴史に興味・関心がもてる授業の在り方」

(4) 市町村への支援・助言

市町村（遺跡名）	内容	期日
瑞浪市（桜堂遺跡）	桜堂遺跡の中世石造物の調査方法に関する指導・助言	4月26日（火）
土岐市（妻木平遺跡）	妻木平遺跡出土遺物に関する助言	7月14日（木）
本巣市（上保本郷遺跡）	上保本郷遺跡試掘・確認調査における指導・助言	2月6日（月）

8 普及活用事業の記録



サテライト展示(大垣市)



出前授業



美濃



飛騨

タイムスリップ探検隊 (土器洗浄体験、発掘体験)



現地見学会(上保本郷遺跡)



バックヤードツアー



発掘調査報告会



埋蔵文化財活用講座

年報 17

平成 29 年 3 月 31 日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

〒502-0003 岐阜市三田洞東 1-26-1

TEL 058-237-8550 FAX 058-237-8551

E-mail : c21807@pref.gifu.lg.jp

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/ken-gaiyo/soshiki-annai/kankyo-seikatsu/bunkazai/>